



甲賀地域ワーキングニュース vol.3

道路整備に関する提言をとりまとめていただきました

第3回地域ワーキングでは、第2回において決定した「地域の重点項目」を踏まえ、「客観的評価マニュアル」に基づき事業評価した結果について報告しました。

また、これまでの委員会における意見・要望等と第3回地域ワーキングにおける討議を踏まえて「地域ワーキング提言」としてとりまとめていただきました。この提言は、甲賀地域の道路整備を進めるうえでの基本的な考え方を示すもので、地域ワーキングから甲賀土木事務所長へ提出されました。

客観的評価マニュアルによる事業評価結果

管内のバイパス整備や道路拡幅などの「改築事業」と、歩道整備などの「交通安全事業」について、「客観的評価マニュアル」に基づき、評価した結果を報告しました。今後は、地域ワーキングで頂いたご意見を参考に、「滋賀県道路整備アクションプログラム2013」を策定し、3月に公表する予定です。

●評価結果の概要

- 「改築事業」として 14 路線 16 工区を評価
→「ランクA」：4工区、「ランクB」：12工区
- 「交通安全事業」として 14 路線 17 工区を評価
→「ランクA」：5工区、「ランクB」：12工区

（ランクA：重点化事業（原則、10箇年に重点的に整備する事業）
ランクB：推進検討事業（事業の推進を検討する事業）
ランクC：当面保留事業（現計画のままでは10箇年間に事業化しない事業）

●評価対象事業の例

改築事業：道路整備

岩室北土山線(岩室)

狭隘な通学路のバイパス整備
甲賀土山I.C.へのアクセス道路整備



交通安全事業：歩道整備

野洲甲西線(正福寺)

歩道未整備区間の解消
歩行者の安全対策



第3回地域ワーキング 開催概要

[日時]

平成25年1月21日(月)

14:00~15:30

[場所]

甲賀合同庁舎 4階4A会議室

●地域ワーキングの目的

甲賀土木事務所管内の地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について、提言を行うことを目的とする。

●地域ワーキングの検討内容

- ①地域の道路・交通の現状、問題点、課題について
- ②客観的評価マニュアルにおける改築事業の地域の重点項目について
- ③客観的評価マニュアルによる事業評価結果について
- ④提言について

●開催経緯

第1回 ワーキング

5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等についてご意見を伺いました。

第2回 ワーキング

地域課題を抽出し、客観的評価マニュアルにおける地域の重点項目を議論しました。

第3回 ワーキング

客観的評価マニュアルによる事業評価結果や提言について議論しました。

アクションプログラム2013策定
(平成25年3月予定)

甲賀地域ワーキングからの提言

地域別アクションプログラム(甲賀土木事務所)

地域ワーキング提言

本地域ワーキングでは、アクションプログラムの見直しにあたり、地域の課題や重点的に整備すべき項目等について平成 24 年 8 月から 3 回にわたって議論してきた。この地域ワーキングでの議論をふまえ、今後、真に必要な道路整備が無駄なく着実に推進されることを願い、以下に示す事項を地域ワーキングからの提言とする。

1. 広域道路ネットワークの整備

甲賀地域(甲賀市、湖南市)は、新名神高速道路の開通とインターチェンジ(甲賀土山・甲南・信楽)の設置、国道1号バイパスの整備等により、広域交通の面では利便性が向上した。その一方で、既存の幹線道路(主に東西方向)を結ぶ南北方向の幹線道路は未だ十分とはいえない状況であり、また交通渋滞を回避する自動車の生活道路や通学路への流入に伴い、子どもや高齢者への事故等の危険性が増加している。そのため、インターチェンジ等へのアクセス道路の整備や、南北方向の幹線道路の強化が求められる。広域道路ネットワークの整備推進による、地域間交流の促進や地域経済の活性化が望まれる。

2. 道路ネットワークの戦略的な整備・活用

道路管理者の連携による道路ネットワークを構築し、時代やニーズの変化に応じて柔軟な道路整備や道路管理を進めていくことが重要である。併せて、財政状況を見据えた効率的な道路施設の更新、維持管理が求められる。

3. 誰もが利用しやすく、人にやさしい道づくり

本地域は歩道の未設置区間も多く、交通弱者(高齢者・子ども・車いす利用者等)の移動時の危険を低減するためにも、安全・安心に移動できる歩行空間の整備や、車いす利用者等を含めた誰でも円滑に移動できるユニバーサルデザインによる歩道整備の推進が求められている。特に、通学路や生活道路等においては、関係者と連携しながら、高齢者、子ども、自転車利用者等を事故から守る交通安全対策の一層の推進が必要である。

4. 災害時における信頼性の高い道づくり

災害に強い道づくりを、広域的なネットワークの中で考えていくことが重要である。東日本大震災をふまえ、災害時に代替路線として機能する道路整備の推進が必要である。

地域別アクションプログラム(甲賀土木事務所)地域ワーキング



地域ワーキング委員

(敬称略、五十音順)

伊地智 良雄

[滋賀県トラック協会甲賀支部]

大西 日出夫(座長)

[県土木交通部OB]

杉田 光

[社会福祉法人 甲賀市社会福祉協議会]

龍池 誉男

[市民代表]

廣岡 茂樹

[市民代表]

藪 育子

[甲賀のみち女性会議]

● 交通管理者・行政関係者

青木 小司

[湖南市 建設経済部]

藤井 秀彦

[甲賀市 建設部]

横江 一郎

[甲賀警察署 交通課]

滋賀県道路整備アクションプログラム 地域別アクションプログラム

(甲賀土木事務所)

～甲賀地域ワーキングニュース～

2013年2月発行

【編集・発行】

滋賀県甲賀土木事務所道路計画課
〒528-8511

甲賀市水口町水口 6200

(甲賀合同庁舎 2F)

TEL:0748-63-6159

FAX:0748-63-1504

E-mail: ha32300@pref.shiga.lg.jp

URL: http://www.pref.shiga.lg.jp/h/m-

doboku/index.html